## 平成 26 年度 総合問題 (文学科 英語英文学専攻) 解答例

- 1 (120 点)
- **問1** 同様に、私は花が咲くのを見るという喜びだけで感動できる。このような世界の味わい 方を私は日本滞在中に学んだ。 (20 点)
- 問2 外国に居住することで、社会性、社交性が高まり、就職においても圧倒的に有利になることに加えて、出身地の慣れた環境を離れて外国という未知の環境に住むことは、自信、 柔軟性、適応力を育む。 (15 点)
- **問3** 外国の環境に圧倒され、飲み込まれそうになったときに、外国の中で故郷を思い出させ 安心させてくれるような個人的空間のこと。 (15 点)
- 問4 国や地域に溶け込むため、自分に合った講座やスポーツ、社会活動に参加する。(20点)
- 問5 筆者が日本に慣れるために1年間に払った苦労は、わずか1年で日本を去るにはあまりにも大きすぎたため。 (20点)
- 問6 出身地の慣れた環境を離れて外国という未知の環境に身を置き、カルチャーショックを 経験しながらも外国の人とコミュニケーションすることなどを通して、自信と順応性、適 応力が身につく。そして異文化を知ることで、出身地の良さを本当に理解できるようにな る。(120字) (30点)

## 【解答例 1】

I do not think that Japanese children should study English. They have to learn Japanese first. If they study English at an early age, they will never learn Japanese well. Students have a lot of *kanji* to learn, and they need to focus on writing their own language. Since Japanese is their mother tongue, they should not learn a second language until they have moved out of their mother's home. Very few students in my high school liked English. So only people who are interested in English for travel, fun, or their future employment should study it. For most students, studying English is a waste of time. (107 語)

## 【解答例 2】